

2012 年度秋学期授業評価アンケート調査について
東洋大学国際地域学部国際地域学科

国際地域学部では、2012 年度秋学期に授業評価アンケートを実施しました。

国際地域学部では、毎年実施する授業評価アンケートの結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てています。わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

2012 年度秋学期におけるアンケート実施科目数は、国際地域学部全体で 120 科目、回答者延べ数 5,850 名ですが、その中で国際地域学科に関連するアンケート結果（回答者延べ数 3,676 名、アンケート対象者延べ数 5,478 名、有効回答率 67.1%）を下記に示します。

なお、アンケート実施方法、アンケート票の体裁が大きく変化したため、過去の授業評価アンケートと直接比較できないことに注意してください。

1. 回答者属性等について

表 1 から表 3 までに、回答者の個人属性を示します。アンケートは、国際地域学科の教員が担当している授業であるため、回答者の一部に経済学部、経営学部、文学部等の学生がいますが、ほとんどが国際地域学部学生であることがわかります。また、学年の構成比率では 1 年生、2 年生がほぼ同数で割合が高く、4 年生が少ないこと、回答者の出席状況では、1-2 回の欠席が最も多いものの、5 回以上欠席した回答者が 126 名いる結果となりました。授業に出席することが、授業履修の第 1 歩であるため、学生のしっかりとした授業参画を希望します。

また、表 4 に示すように受講人数の適切さでは、1,219 名（33.2%）が「多すぎる」もしくは「やや多い」と回答しており、より適切なクラスサイズについて検討する必要があると考えています。

表 1 回答者の所属学部

学部	文	経済	経営	法	社会	理工	国際	生命	ライフ	総合	有効回答	無効回答
	3	10	16	0	0	0	3,632	0	0	1	3,662	14

表 2 回答者の学年

学年	1年	2年	3年	4年	その他	有効回答	無効回答
	1,350	1,363	764	178	2	3,657	19

表 3 回答者の出席状況

出席状況	一度も欠席なし	1～2回の欠席	3～4回の欠席	5回以上欠席	有効回答	無効回答
	1,070	1,785	638	126	3,619	57

表 4 受講人数の適切さについて

受講人数の適切さ	多すぎる	やや多い	適切	やや少ない	少なすぎる	有効回答	無効回答
	319	900	2,335	86	8	3,648	28

2. 授業についての評価

2.1 授業のわかりやすさについて

表5に授業のわかりやすさについての回答分布を示します。国際地域学科の評価が高い項目として、「5.先生の声は聞き取りやすかったですか。」

「4.スクリーンに投影される文字や図表は読みやすく作成されていましたか」

の2つがあげられる一方、最も評価が低い項目として、

「3.黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」

が指摘されました。

当学科で評価の高い「5.先生の声」も大学平均よりは低く、「3.板書」も大学平均より低いことが、「6.総合的评价」で大学平均を若干下回ることにつながっています。これらの点で特に改善の余地があると考えられます。

表5 授業のわかりやすさについて

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数 / 回答率 (%)										有効 回答	無効 回答
					1		2		3		4		5			
A. 授業のわかりやすさについて																
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.16	3.19	3.15	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった							3,656	20
					1,449	39.6%	1,478	40.4%	579	15.8%	150	4.1%				
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.23	3.24	3.22	役に立った	わりに役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	これらの教材は使わなかった						3,647	29
					1,366	37.5%	1,605	44.0%	445	12.2%	53	1.5%	178	4.9%		
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.03	3.03	3.05	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	板書はしなかった					3,657	19	
					978	26.7%	1,190	32.5%	593	16.2%	150	4.1%	746			20.4%
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影机、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.31	3.31	3.31	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	パワーポイント等は使わなかった					3,660	16	
					1,532	41.9%	1,303	35.6%	372	10.2%	76	2.1%	377			10.3%
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.36	3.39	3.43	聞き取りやすかった	わりに聞き取りやすかった	あまり聞き取りやすくなかった	聞き取りやすくなかった						3,648	28	
					1,959	53.7%	1,159	31.8%	429	11.8%	101	2.8%				
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.16	3.20	3.17	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった						3,651	25	
					1,483	40.6%	1,427	39.1%	598	16.4%	143	3.9%				

2.2 授業運営について

表6に授業運営についての回答分布を示します。評価が高いものは「3.授業の開始時間、終了時間は

守られていたと思いますか。」である一方、評価の低いものとして「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」が指摘されました。但し「4. 総合評価」も含め、いずれの項目も大学平均より高い評価を得ております。しかし更に今後とも、講義環境づくりに注力する必要があると考えられます。

表 6 授業運営について

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数 / 回答率 (%)										有効回答	無効回答
					1		2		3		4		5			
B. 授業運営について																
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.40	3.39	3.37	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない				3,649	27
					1,721	47.2%	1,714	47.0%	180	4.9%	34	0.9%				
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.32	3.31	3.27	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない		私語がなかったので注意の必要がない		3,646	30
					1,569	43.0%	1,461	40.1%	343	9.4%	56	1.5%	217	6.0%		
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.57	3.58	3.49	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない				3,630	46
					2,270	62.5%	1,174	32.3%	159	4.4%	27	0.7%				
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.36	3.37	3.35	よかった		わりによかった		あまりよくなかった		よくなかった				3,608	68
					1,733	48.0%	1,492	41.4%	317	8.8%	66	1.8%				

2.3 学習成果について

表 7 に学生から見た学習評価についての回答分布を示します。「2. 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。」、「3. 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。」の評価が高いですが、「1. あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。」と「4. この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。」の評価が相対的に低くなっています。(これは大学平均でも同様の傾向があります。)言い換えると、授業により受動的な学習成果はあったとするものの、積極的・能動的な学習に繋がったとの自己評価は低く、より自発的な学習意欲を如何にして醸成していくかが課題と考えられます。

表 7 学習成果について

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数 / 回答率 (%)										有効回答	無効回答
					1		2		3		4		5			
C. 学習成果について																
1	あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。	3.04	3.05	3.06	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない				3,623	53
					1,034	28.5%	1,797	49.6%	690	19.0%	102	2.8%				
2	受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。	3.29	3.30	3.29	できた		わりにできた		あまりできなかった		できなかった				3,601	75
					1,507	41.8%	1,670	46.4%	372	10.3%	52	1.4%				
3	受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。	3.15	3.15	3.16	できた		わりにできた		あまりできなかった		できなかった				3,619	57
					1,268	35.0%	1,699	46.9%	577	15.9%	75	2.1%				
4	この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。	3.03	3.05	3.04	よかった		わりによかった		あまりよくなかった		よくなかった				3,623	53
					980	27.0%	1,869	51.6%	688	19.0%	86	2.4%				

2.4 授業の難易度と進度について

表 8 に、授業の難易度と進度についての回答分布を示します。いずれの項目も「適切であった」「わりと適切であった」が過半を占めており、全学平均に比しても比較的高い評価となっています。しかしながら「あまり適切ではなかった」「適切ではなかった」とする学生が一部強あるのも事実であり、授業の水準を確保しつつ、適切でなかったとする学生に如何に対処すべきかとの課題が残ります。

表 8 授業の難易度と進度について

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数 / 回答率 (%)								有効 回答	無効 回答		
					1	2	3	4	5							
D. 授業の難易度と進度について																
					適切であった		わりと適切であった		あまり適切 ではなかった		適切ではなかった					
1	授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。	3.16	3.19	3.12	1,246	34.5%	1,802	49.8%	481	13.3%	86	2.4%			3,615	61
2	授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。	3.26	3.28	3.21	1,428	39.6%	1,725	47.8%	414	11.5%	39	1.1%			3,606	70
3	総合的に見て、授業の難易度と進度は適切でしたか。	3.23	3.26	3.18	1,362	37.8%	1,766	49.0%	426	11.8%	53	1.5%			3,607	69

3. 総評

授業・授業運営についての評価において、比較的低い評価であった項目は、

- ・「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」でした。

また全学的な相対評価で低い項目は

- ・「5. 先生の声は聞き取りやすかったですか」でした。
- ・一方「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」については比較的良好な回答結果を得ています。

これらを考え合わせると、学生の講義への集中を促すと同時に上記のような低い評価項目の改善が課題と考えられます。

学習成果の評価についてみると、受動的評価項目では学習成果をみとめるものの、能動的な評価が充分高くありません。より自発的な授業への取り組みを実現させ、それを通じた満足度の上昇が必要不可欠と考えられます。

授業の難易度と進度については、

「わりと適切であった」以下の回答者には講義内容の咀嚼不十分な学生が含まれるものと考えられますので、生活指導、勉学環境等を含めたきめ細かな対応が必要と考えられます。

また、その他の項目において評価が低かった項目をその対応策とあわせて下記に列挙します。

- ・5回以上欠席した回答者が126名いたこと

(対策：学生のしっかりとした授業参画への誘導を適切に行うこと)。

- ・受講人数の適切さにおいて、33.2%の学生が、多すぎる、やや多いと回答していること

(対策：適切なクラスサイズについて、教室数との兼ね合いを検討しながら、時間割の検討などを行うこと)。

以上